

HAYWARD 交流の特徴

船橋市にとって初めての姉妹都市である Hayward 市。アメリカでは民間交流が中心となっており、3都市の中で最も草の根交流が進んでいます。Hayward 市との交流の特徴の一つとして、アメリカの公用語である英語を生かした青少年教育交流が挙げられます。（船橋市は教育課程特例に基づき小学校1年生から英語の授業を実施）

また、新型コロナウイルスにより渡航が制限されたことをきっかけに、オンラインを活用した交流会も行われています。



モロー高校との交流

市立船橋高校・モロー高校（私立）夏季短期交換留学

平成2（1990）年から始まった姉妹校間の交換留学プログラムです。約2週間、クラスメイト宅にホームステイしながら学校に通い授業に参加します。お互いに異なる文化に浸かることで「国際人」としての資質の向上を目指します。

市立船橋高校卒業生カリフォルニア州立大学イーストベイ校留学制度

市立船橋高校卒業生の進路の選択肢の一つとして設定された留学制度です。一定の成績を修め、英語の成績が基準を満たすとイーストベイ校に推薦で進学することができ、授業料の一部免除で4年間勉強することができます。また英語力が基準に満たない場合には、アメリカンランゲージプログラム（大学付属の語学学校）に通い大学進学を目指すことができます。

小・中学校間交流

両市の学校間で手紙等を交換し、学校紹介や手紙での交流を通じて、船橋市の子どもたちがこれまでの英語学習の成果を発揮するとともに、両市の将来を担う若者の友好を深めます。

船橋市国際交流協会カリフォルニア州立大学イーストベイ校留学制度

平成3（1991）年から始まった1年間の留学制度で、学生は授業料の一部免除が受けられます。令和3年末で延べ53人が留学し、卒業後は国際機関への就職や写真家など多彩な方面で活躍されています。

船橋市国際交流協会高校生海外研修派遣制度

平成30（2018）年から始まったイーストベイ校付属語学学校へ高校生を派遣するプログラムです。約1週間、ホームステイしながら英会話の授業に参加します。姉妹都市でのアメリカ文化体験を通して、未来の国際交流を担う人材育成を図ります。

【コラム】船橋市国際交流協会

姉妹都市締結がきっかけとなり昭和62（1987）年に設立。

アメリカでは、市民団体が姉妹都市交流を担っていたため「Hayward・船橋姉妹都市委員会」を参考に、昭和62年に船橋市の経済界・市民団体によって設立されました。その後、姉妹友好都市が3市になった今日も市民の草の根交流を担うボランティア活動を続けています。また、内なる国際化を支えるため、船橋市在住の外国にルーツを持つ住民との交流や支援も行っています。

西安市との交流は、当時オープンしたばかりの先進的な大規模商業施設（ららぽーと）がきっかけとなり、昭和57（1982）年までさかのぼることができます。当初は友好都市提携を目的とした交流ではなく（※1）、経済・文化を中心に市民交流が行われ、その実績の積み重ねの結果として、友好都市提携に至りました。悠久の都長安（西安）は、今でも船橋市民を魅了し続けています。



友好校交流

※1：当時の中国の制度として、ある国の都市と友好都市提携をしたら、その国内の都市とは、最大で2都市までしか友好都市提携できない、という決まりがありました。（西安市は、既に日本国内で京都市・奈良市と友好都市提携していたため、船橋市は3都市目になり、友好都市提携はできない状態でした。）

友好校交流

両市の友好学校提携（※2）をし、4年間周期で児童・生徒の派遣、作品交流、受入、作品交流を繰り返しながら交流を深めています。

※2：平成7（1995）年に西安市教育代表団が来船し、両市の小・中・高等学校から各1校ずつ友好学校提携しました。市場小学校と大雁塔小学校、船橋中学校と育才中学校、市立船橋高校と第85中学校です。

囲碁交流

昭和63（1988）年に始まった市民親善囲碁大会は、船橋市・西安市と開催地を交互にして続いています。平成23年には第20回記念大会を開催し、延べ500人近い市民が両市を訪れました。平成21年には外国友好都市との囲碁対抗試合開催最多回数として中国版のギネスブックに登録されました。対局を通じた交流は未来へと受け継がれていきます。

重陽気功

西安市から船橋の地に伝授された重陽気功は、愛好者たちが協会を設立し継承されています。各公民館等にサークルがあり、市民の間にすっかり根付き健康増進に役立っています。



秦の始皇帝の墓を守る兵馬俑

オーデンセ市 交流の特徴

1805年オーデンセ市に生まれた世界的な童話作家H.C.アンデルセン。「人魚姫」や「みにくいアヒルの子」などはあまりにも有名な作品です。そのアンデルセンにちなんだ交流が深まっています。

また、高福祉で国民の幸福度が高いと言われるデンマーク王国。船橋市立看護専門学校や市内民間施設では、視察研修などを実施し、健康福祉分野での交流も行われています。



デンマークの風景を再現した丘陵と風車（船橋市景観重要建造物）

ふなばしアンデルセン公園

H.C.アンデルセンの名前を冠することを認められた公園は世界に唯一、船橋市にしかありません。「メルヘンの丘」にあるデンマーク式風車、昔ながらの農村を再現したエリアは現地の技術者の指導のもと作られ、ロマンティックな異国の雰囲気伝えてくれます。また「花の城（キッズガーデン）」にはアンデルセン童話をイメージしたオブジェや遊具が配置されています。平成12（2000）年には、デンマーク女王マルガリーテ2世から、藤代市長にアンデルセンを通じた姉妹都市交流が認められ、「第1回オーデンセ市国際アンデルセン賞」が授与されました。また、平成23（2011）年4月2日（※1）には、施設として初めて、アンデルセン公園がオーデンセのアンデルセン賞を受賞しました。

※1：4月2日はアンデルセンの生誕日です。



デンマーク女王マルガリーテ2世から国際アンデルセン賞を受け取る藤代孝七市長

子ども美術館

アンデルセン公園内にある体験型施設。アンデルセンが切り紙作家でもあったことから、作品のレプリカを常設展示し、また「アンデルセンスタジオ」ではオーデンセの子供文化センター「ティンダーボックス」から導入したスタジオ・衣装・フェイスペインティングで子どもたちが「おやゆび姫」「しっかり者のすすの兵隊」（アンデルセン作の童話）の登場人物に変身し、幻想的な世界を本場デンマークと同じように世界で唯一体感できます。

また、平成21年度からきりがみコンクールを開催しており、毎年「アンデルセンの切り紙の心と創造性を持った作品」を募集しています。全国から1,300点を超える力作が集まります。

船橋市立看護専門学校

看護師育成カリキュラムの一環としてオーデンセ市の福祉施設や医療施設の視察研修を行っています。現場のスタッフから直接説明を聞き、病室等を見学することで机上では習得できない、看護師として必要なことを沢山学び、体感しています。

姉妹・友好都市比較

	船橋市	ハイワード市	西安市	オーデンセ市
提携調印	—	1986.11.7	1994.11.2	1989.4.6
人口 (人)	645,718	約 163,000	約 12,953,000	約 206,000
面積 (km ²)	85.62	165.3	10,108	305.6
人口密度 (人/km ²)	7,542	986	1,281	674
市制施行	1937.4.1	1876.3.11	—	988 (現行の行政単位 自治体は1970年)
緯 度	北緯 35° 41′	北緯 37° 66′	北緯 34° 20′	北緯 55° 23′
経 度	東経 139° 59′	西経 122° 08′	東経 108° 56′	東経 10° 23′
年間降水量 (mm)	1,150	355.6	716	685
最高気温	36.2℃	38.6℃	39.0℃	21.5℃
最低気温	-2.4℃	-0.3℃	-10.0℃	-0.4℃

※2022年1月現在の数値を基に作成しています。

令和4年（2022年）3月発行

船橋市 市長公室 国際交流課

〒273-8501

千葉県船橋市湊町2丁目10番25号

電話 047-436-2083